

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより

かなざわ

第 189 号 令和 5 年 4 月 5 日



「金沢支援学校」のスタートによせて

校長 伊藤 美加

春爛漫の好季節となり、各地から花便りの聞こえてくるころとなりました。学校のまわりにもきれいな花が咲き、子どもたちを温かく迎えてくれます。

新型コロナウイルス感染症の心配は、今後もまだ続くと思われませんが、安全で安心な学校を維持しながら、教育活動の更なる充実を図っていきたいと思います。

本校では、4月5日に始業式と入学式が行われました。在校生の児童・生徒の皆さんは学年が一つずつ上がり、新たなクラスでの新たな活動が始まりました。そして今年度は新入生86名を迎え、総勢320名（肢体不自由教育部門小学部30名、中学部14名、高等部15名、知的障害教育部門小学部76名、中学部47名、高等部93名、横浜氷取沢分教室45名）の児童・生徒が在籍することとなりました。この児童・生徒数は、昨年度よりも増え、本校始まって以来、最多の人数をさらに更新しました。仲間が増え、さらに賑やかで活気あふれる学校になると思います。



令和5年4月1日より、学校名が「金沢支援学校」となりました。新しい学校名のもと、新たな気持ちで、県立の支援学校としての役割を担っていきたいと思います。

今後も引き続き「豊かに生きる力をはぐくむ学校」を学校の基本理念として教育活動を行います。子どもたちが得意なことやできることをさらに伸ばし、一人ひとりの強みをいかして、自分に合ったやり方でさまざまなことができるようになっていくことが、豊かに生きることに繋がると考えます。そのために安全な環境で安心して過ごすことができる学校づくりに努めていきますので、今年度もどうぞよろしくお願いたします。



～生徒会はこんなことをやっています～

金沢支援学校の生徒会では、選挙によって選ばれた「生徒会役員」と中学部・高等部のクラスから選出された「クラス代表者」とが協力して『広報委員会』『放送委員会』を運営し、よりよい学校のため活動しています。

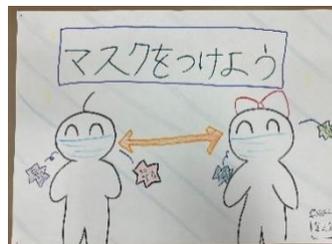
今回はその活動の一部をご紹介します。

あいさつ運動

生徒会役員を中心に朝の登校時間、「あいさつ運動」を実施しています。適切な距離をとりつつ、登校する児童・生徒に「おはようございます」と一人ひとりに挨拶しました。全校での行事を行っていない中で、小・中・高等部の児童・生徒全員と顔を合わせる数少ない機会でもあり、役員の皆さんも楽しみにしている活動です。

また、あいさつ運動の一環として『広報委員会』を中心とした、「ポスター制作」を行いました。昨年度は挨拶の推進に加えて、感染症予防や学校の環境美化などを校内に呼び掛けました。

こちらは校門前の掲示板や各学部の廊下・トイレ前、昇降口などに掲示しています。



お昼の放送

『放送委員会』を中心に行っているのが、「お昼の放送」です。

週に1回程度、『放送委員会』の生徒がDJとなり、テーマに沿った話題や自分の好きな曲を放送しています。現在はタブレット端末に音声を録音しそれを流す形をとっており、ゆっくり話したい方も緊張しやすい方も、自分のペースでリラックスしてDJを楽しんでいます。

また、こちらの「お昼の放送」は学校全体へ流れるもので、各学部に放送を楽しみにしている児童・生徒が居ます。それぞれ放送委員会の生徒が趣向を凝らしたDJを披露し、食事や昼休みの時間を盛り上げています。

生徒会選挙の期間には立候補者の演説が行われたり、高等部卒業式の前には高等部3年生の生徒が学校の思い出を発表したりと、季節によって様々な内容の放送が行われています。

